

研究トピックス

新野菜「スクマウイキ」に注目

アフリカの高原地帯で栽培されている非結球性キャベツ「スクマウイキ」の栽培試験に取り組んでいます。同じ仲間に青汁の原料として有名なケールがありますが、スクマウイキの方がカルシウム、亜鉛、ビタミンKなど栄養成分を多く含んでいるうえ、苦味が少なく食味も優れています。

現在、新たな地域特産野菜として普及できるように研究しています。



(東三河農業研究所)

DNA診断技術を利用して名古屋コーチンを改良

名古屋コーチンは、産んだ卵を抱き温める性質（就巢性）を持っているため、



就巢性有無の判定
1,2:非就巢性型
3,4:中間型
5,6:就巢性型

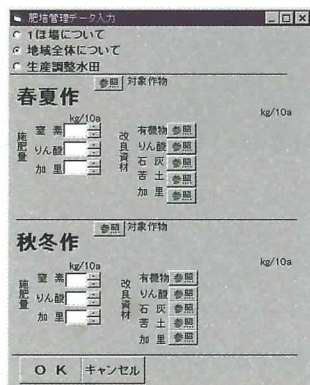
卵を温めだすと、産卵を停止してしまいます。そこで、名古屋大学・麻布大学と共同で、就巢性を判定するDNA診断技術を開発しました。

今後、この技術を用いて、産卵能力の高い名古屋コーチンの改良を行っていきます。

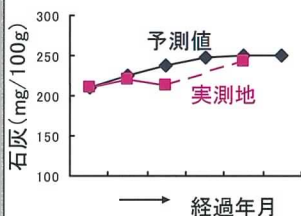
(畜産研究部)

土壌の化学性を長期に予測

土壌の化学性が肥培管理によってどのように変化するかを予測する土壌管理ソフトを開発しました。従来の土壌診断ソフトは、その作期だけを診断するだけでしたが、今回のソフトを用いれば、5年間の長期にわたって土壌の化学性を適正に保つために必要な土壌改良資材の投入量を知ることができます。



データ入力画面



畑土壌における石灰含量の予測結果

(環境基盤研究部)

簡易に大豆のタンパク質含量を測定

米や小麦の品質測定に広く使われている食味計（近赤外分光光度計）を利用して、大豆のタンパク質含量を簡易に測定する技術を開発しました。

大豆130gを粒のまま測定用セルに詰め、約2分間で測定できます。



(作物研究部)

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線322 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>